

平成29年度 博物館施設 総合評価

施設名 自然の博物館

		達成	未達
全館共通	数値目標による評価	4	0
各館独自	数値目標による評価	5	3

		完了A	課題有B	未着手C
全館共通	チェックリストによる評価	90	0	0
各館独自	チェックリストによる評価	26	0	0

自己評価総括

評 価	<p>1 数値目標</p> <p>(1) 全館共通項目 すべての項目で目標値を達成した。 展示改修による常設展の充実や魅力ある企画展の実施に加え、職員がデザインしたグッズの作成・販売、博物館クイズ景品のオリジナルカード更新など来館者に楽しんでいただける様々な工夫を行うことで来館者の満足度が高まるとともに、効果的な情報発信もあり入館者数が増加したことが要因と思われる。</p> <p>(2) 各館独自項目 達成が5項目、未達が3項目。 未達のうち「資料の新規登録数」は寄贈・提供数が少なかったこと、「資料の利用数」は常設展、企画展及び特別展での展示数が目標より少なかったことが要因と考えている。</p> <p>2 チェックリストによる評価</p> <p>(1) 全館共通項目 …… すべてがA</p> <p>(2) 館別独自項目 …… すべてがA</p>
課 題	<p>1 多くの項目が入館者数に連動するものであり、引き続き来館者の満足度を高めリピーターを増やすことにより、入館者数の維持・確保に努める必要がある。</p> <p>2 ニーズの高い学校等の学習支援や共催展を通じた市町村支援などに応える必要がある。</p>
対 応 の 方 向	<p>1 1月の展示改修でリニューアルした天然記念物コーナー、ジオパーク秩父コーナー、長瀬の自然コーナー、県のシンボルコーナーなど当館の新たな魅力を積極的に情報発信していく。埼玉及び秩父地域の自然の特徴を生かした満足度の高い企画展、特別展を実施する。常設展図録の作成及び多言語化に対応する音声ガイドを導入する。</p> <p>2 繁忙期や要望が集中する時期には日程調整を行うなど職員の負担にも配慮して対応していく。</p>

## 評価結果に対するコメント

### 1. 全体に係る評価

各館協議会・委員会の意見	<p>【○委員からのご意見・⇒当館の対応、改善点】</p> <p>○引き続き展示の工夫と館外への情報発信の努力が継続されることを期待する。 ⇒埼玉の魅力をわかりやすく伝える展示の充実やターゲットを絞った効果的な広報に努める。</p> <p>○数値目標による評価の「館別独自項目」のうち未達の項目について 「1 資料の新規登録数」では寄贈や提供を今まで以上に声かけをしてお願いすること。 ⇒展示の充実など一層活発な博物館活動を展開することで博物館への信頼を高め寄贈等が増加するように努めたい。 「2 資料の利用数」では展示目標を多くするよう一層努力をする必要がある。 ⇒企画展や特別展の内容により利用数は変動するが充実した展示で来館者に楽しんでいただけるよう工夫したい。</p> <p>○特長を生かした長瀬の自然コーナーを博物館の新たな魅力として今後も積極的に情報発信すべき。また、自然観察後に博物館を見学する場合と博物館見学後に自然観察する場合に分けて展示コーナーを作成するのがよいと考えている。 ⇒長瀬の自然コーナーでは季節ごとに観察できる動植物を紹介し併せて自然観察マップを提供している。博物館見学後に自然観察することをお勧めしているが、逆の場合でも十分楽しめると考えている。</p> <p>○新しい技術も積極的にとり入れるとよい。 ⇒ドローンで撮影した「古秩父湾」天然記念物の露頭の映像をVR観察するコーナー設置を準備中。</p> <p>○動物園、水族館などとの協力、協働も新しい展開に役立つのではないかと。 ⇒平成27年度の特別展「ウンチ・糞・フン」で県内動物園と展示資料を協同製作するとともに、動物園での観察会を実施した。水族館との協力は今後可能性について検討する。</p> <p>○数値目標以外に、混みすぎているか、入館者の印象、満足度(どこに)、リピーターの割合、再訪した理由などを可能な範囲で把握されるとよい。 ⇒引き続きアンケートなどを通じて来館者の動向やニーズの把握に努めていく。</p> <p>○規模や数から質への転換を念頭におくことが好ましい。 ⇒「わかりやすく楽しく学べる博物館」という視点に立って常設展及び企画展を充実するなど来館者の満足度の高い博物館運営に努めていく。</p>
--------------	---

### 2. 全館共通項目に係る評価

評価小委員の意見	<p>○「数値目標による評価」はすべて目標値を超えており、館の発信する調査・研究成果が県民に認知されていること、そのための広報活動が充分に行われていると判断できる。</p> <p>○「全館共通項目チェックリスト」では全項目中全てがA評価であり、博物館が担う諸使命は十分に遂行していると判断される。</p> <p>○学校・社会教育を問わず教育普及事業が多岐にわたっていることが高く評価される。ただし、「対応の方向」にも書かれているとおり、繁忙期などにおける館の円滑な運営や職員の負担にも配慮して対応する必要はあると考える。</p> <p>○常設展、特別展・企画展ともに高い満足度を得ており、本館の活動の質は高いと評価できる。</p> <p>○本年度はメディアに取り上げられ秩父と埼玉の持つ魅力をが紹介された。</p> <p>○日頃から当館が取り組まれている秩父の自然、地形、動植物の情報源としての役割が高まっている。</p>
----------	---



